

指定管理者による公の施設の管理状況評価（平成29年度）

施設	名称	栃木市いまいずみ児童館
	所在地	栃木市今泉町1丁目2番7号
	施設内容	小型児童館
指定管理者	名称	社会福祉法人 栃木市社会福祉協議会
	所在地	栃木市今泉町2丁目1番40号
	主な業務内容	地域福祉推進事業・介護保険事業・障害者総合支援法に基づく事業

(1) 平等利用の確保とサービス向上の取組み

評価項目	①	施設の設置目的や特性に基づいた施設運営の基本方針が明文化され、職員が適切に理解しているか					
	②	施設予約や利用方法等について、市民の誰もが利用しやすい利便性と平等性確保の配慮がなされているか					
	③	アンケート調査等により、利用者等の意見を把握し、運営に反映させる取組みを行っているか					
	④	利用者等からの苦情や意見などに対し、適切な取組みを行っているか					
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値		
	各種サービスの満足度（%）（職員の対応）			80	99		
	各種サービスの満足度（%）（遊具類）			80	93		
	苦情要望に対する対応（7営業日以内に回答した回数）			0	0		
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	25	I	1.0	25	I	1.0	25
指定管理者コメント	<p>①職員に事業計画を配布し、施設運営方針を十分に理解し、共通理解のもと管理運営に携わっております。</p> <p>②利用時は全員に受付簿の記入を求め、団体の利用申請は条例等に基づき承認するなど、公平公正な対応を行っています。また、広報とちぎや本会広報誌（ふくぴーだより）、本会ホームページに行事の案内等を掲載し、市民の皆様が平等に本館の情報を得られるよう配慮しています。出入口に、開館時間、休館日等の案内を、掲示板に行事予定、約束事、チャレンジ母親クラブ活動写真等掲示し、利用者の立場に立った使いやすい施設作りを心がけています。</p> <p>③アンケートの結果から、「満足」「やや満足」と回答した利用者は、職員の対応については99%、館内の遊具類は93%となりました。調査の結果をふまえ、おもちゃを増やすなど実施できるものから対応しております。</p> <p>④館内に利用者意見箱を設置し、広く利用者の意見を募ると同時に、意見・苦情については本会苦情解決に関する規程に基づき対応しています。苦情らしいものはなく、対応が困難なケースは十分に説明するようにしております。</p>						
施設所管課コメント	<p>・児童館の運営方針に基づき、適正な管理運営を行っているものと評価する。</p> <p>・広報とちぎや社協だよりを活用し、行事案内等掲載するとともに、施設内に行事写真を掲示するなど、利用者が利用しやすい施設となるよう取り組んでいる。</p> <p>・毎年、利用者アンケートを実施し、調査結果を踏まえた対応、運営の改善を図っている。職員の対応や遊具類等についてのアンケート結果も、おおむね良好であった。</p> <p>・児童館に寄せられた利用者からの意見や相談等については、利用者の話によく耳を傾け、説明を丁寧に行うことを心掛けている。</p>						

(2) 施設の効用を最大限に発揮する取組み							
評価項目	①	施設の設置目的に基づいた事業計画通りに管理運営をしているか					
	②	広報活動等（広報紙、ケーブルTV、ホームページ、SNS等）による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか					
	③	開館時間の延長及び新規事業等による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか					
	④	地域の住民や関係団体等との連携や協働による事業等、利用者や地域住民の満足度を高める取組みを行っているか					
管理状況評価指標	指標名		計画値		実績値		
	広報の充実（回）		19		25		
	基準利用者数の達成（人）		13,000		11,456		
	施設目的に合致したサービスの提供（件）		65		86		
	事業計画等に定める事項の遵守（%）		100		100		
	他施設との連携に対する理解（回）		2		6		
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	20	Ⅱ	0.8	16	Ⅱ	0.8	16
指定管理者コメント	<p>①事業計画に基づき、記載された事業はほぼ達成されました。</p> <p>②広報とちぎに12回、本会広報誌ふくびーだより（年6回発行）に記事を1回掲載するとともに、本会ホームページに利用案内を掲載し、PRに努めています。さらに、毎月児童館だよりを300部発行し窓口等での配布を行っています。</p> <p>③施設目的に合致した事業を86回行いました。（別紙「平成29年度いまいずみ児童館事業報告」参照） 11,456人が利用されましたが、計画値には至りませんでした。</p> <p>④他施設連携・共働事業として、老人福祉センター泉寿園利用者との交流カラオケ大会、そのべ児童館と共催による観劇会、栃木農業高校生ボランティアによる農作業体験、栃木市チャレンジ母親クラブの事業（休館日貸し出し3回）を実施しました。</p>						
施設所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画に基づき、おおむね事業が達成されたものと評価する。 ・定期的な事業の取組みは行っているが、月に数回土日の行事を実施したり、時代にあった新規事業への取組みに力を入れた頂きたい。 ・児童館行事におけるチャレンジ母親クラブとの連携を図るとともに、当クラブへの協力、支援を行うなど、地域組織の育成に努めている。今後も、引き続き、母親クラブとの連携、協力をされたい。 ・高校生ボランティアの協力による行事を開催するなど、ボランティアの育成を図っている。 ・老人福祉センター利用者と児童とのカラオケ大会を実施するなど、世代間交流を図っている。 						

(3) 施設経費の削減の取組み							
評価項目	①	指定管理料、利用料金等の収支手続について、適切で透明性の高い管理をしているか					
	②	サービスの質を確保した経費削減の取組みを行っているか					
	③	清掃、警備、保守点検など、業務の一部再委託等をする場合、複数業者からの見積合わせなど、経費節減等を考慮して適切に行っているか					
	④	施設、備品等の管理について、適切に維持管理し、省エネ、省資源、環境配慮物品の購入など環境への配慮を適切に行っているか					
管理状況評価指標	指標名		計画値	実績値			
	環境に配慮した管理（廃棄物の減量と再資源化の対策の徹底）（％）		100	100			
	環境に配慮した管理（冷暖房温度の抑制の取組み）（％）		100	100			
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	15	Ⅲ	0.6	9	Ⅲ	0.6	9
指定管理者コメント	<p>①指定管理料の収支手続きを適正に行っております。</p> <p>②常に経費削減に努めております。簡易な修繕等は泉寿園職員と協力しております。利用者アンケートの結果から、多くの方に満足いただいております。サービス低下にはなってないと思われま。</p> <p>③備品管理台帳の作成、建物、設備の点検自主報告書を作成し、職員全員が把握するように努めています。</p> <p>④行事の工作物材料等は、新聞紙、牛乳パック、ペットボトル等を使用するなどエコ対策に取り組んでいます。 (新聞紙16回、広告紙15回、ティッシュ箱1回、ペットボトル9回、牛乳パック4回、トイレトペーパーの芯1回、ガチャ容器1回 合計47回使用) また、館内の節水や空調の温度管理をし、節電対策を実施しています。</p>						
施設所管課コメント	<p>・指定管理料の収支手続きを適正に行っているものと評価する。</p> <p>・行事の工作材料等については、牛乳パックやペットボトル等を積極的に再利用するなど、経費節減に努めている。</p> <p>・空調機の温度管理や電灯の節電、節水等に取り組んでいるが、引き続き光熱水費等の節減を図られるようお願いしたい。</p>						

(4) 施設の管理を安定して行うための取組み						
評価項目	① 施設の適正管理に必要な職員の配置及び管理運営体制が確保されているか					
	② 職員の望ましい勤務体系及び育成指導、研修等が十分に確保されているか					
	③ 職員の福利厚生は充実しているか					
	④ 各種税金や社会保険料等は適切に納められているか					
	⑤ 団体の財政状況等は健全であるか <別紙参照>					
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値	
	管理体制に定められた人員配置の有無 (人)			4	4	
	日常連絡の適切さ (%)			100	100	
	事業計画・事業報告の適切さ (%)			100	100	
	配置人員の施設運営方針の理解度とスキルの習得度 (回)			1	6	
	館長会議 (回)			4	6	
	労働基準の充足 (%)			100	100	
評価	配点	第1次評価 (指定管理者評価)			第2次評価 (施設所管課評価)	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	20	Ⅱ	0.8	16	Ⅲ	0.6
指定管理者コメント	<p>①施設を管理する者に、防火管理者・社会福祉士等の資格を有する者を配置して施設全体の把握に努め、安全管理を徹底しています。その他の職員は、保育士や幼稚園教諭等の資格を持つ者を配置しています。また、事業計画・報告は指定された日までに、毎月の利用状況報告書を翌月10日までに提出し、適正な施設管理に努めております。管理運営体制に定められた4名を配置し、本会就業規程を遵守して業務を忠実に遂行いたしました。</p> <p>②県児童館連絡協議会主催等による研修会に参加し、職員の資質向上に努めました。また、6回開催された館長会議に毎回出席いたしました。</p> <p>③健康保険料、厚生年金保険料、各種税金について滞納はありません。</p> <p>④別紙財務数値について異常ありません。</p>					
施設所管課コメント	<p>・館長に防火管理者、社会福祉主事の資格を有する職員を配置し、児童の遊びを指導する職員については、保育士や幼稚園教諭の資格を有する職員をおおむね配置しており、適正な職員配置を確保している。</p> <p>・必要な研修会に出席し、資質、能力の向上を図っている。</p> <p>・財務状況について、適正であると認める。</p>					

(5) 施設の安全対策、危機管理体制の取組み							
評価項目	①	① 日常の安全点検及び法定点検等の安全対策を行っているか					
	②	② 緊急時の危機管理体制等が確立されているか					
	③	③ 避難訓練や防災訓練を適切に行っているか					
	④	④ 具体的な個人情報保護対策を行っているか					
管理状況評価指標	指標名		計画値		実績値		
	児童安全共済制度への加入 (%)		100		100		
	防火管理者の配置と安全確保体制の確立 (避難訓練) (回)		2		2		
	防火管理者の配置と安全確保体制の確立 (消防設備点検) (回)		2		2		
	事件・事故発生時の対応の適切さ		-		-		
	施設の安全対策 (施設点検) (%)		100		100		
	守秘義務の徹底 (%)		100		100		
評価	配点	第1次評価 (指定管理者評価)			第2次評価 (施設所管課評価)		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	20	Ⅲ	0.6	12	Ⅲ	0.6	12
指定管理者コメント	<p>①毎日の館内・児童公園巡回、月1回遊具を含めた施設全体の点検を行い安全管理を徹底しています。また、児童が理解しやすいように絵を使った約束事を館内に掲示しています。消防設備については、年2回の点検を実施しています。施設の管理瑕疵に係る児童安全共済に加入し、不測の事態に備えています。</p> <p>②緊急時の対応方法を定めた危機管理マニュアルや消防計画を作成しています。事故発生時には、危機管理マニュアルに従い市に通報するとともに報告書を提出し、連携を図ります。また、隣接されている勤労者総合福祉センター職員と連携を図り、緊急時に備えています。</p> <p>③老人福祉センターとの合同で避難訓練を実施し、館内利用者と避難経路や避難の手順について確認し、安全対策を講じました。消火器具点検を定期的に行いました。</p> <p>④個人情報、本会の個人情報保護規程に基づいた取り扱いをしています。</p>						
施設所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎日の館内巡回や定期的な遊具の点検、年2回の消防点検等を実施するなど、施設の適正な維持管理及び安全管理に努めている。 ・ 屋外の幼児遊具公園については、職員による環境整備を定期的に行い、利用者の安全の確保と利用者増に繋げていきたい。 ・ 複合施設内全体で年2回の合同避難訓練と避難経路や消火設備等の確認を実施するとともに、危機管理マニュアルを策定し、事故や災害に危機意識をもって備えている。今後も、児童が安心して安全に児童館を利用できるよう、安全対策を十分講じていきたい。 						

評価結果	配点	第1次評価点 (指定管理者評価)	第2次評価点 (施設所管課評価)
(1) 平等利用の確保とサービス向上の取組み	25	25	25
(2) 施設の効用を最大限に発揮する取組み	20	16	16
(3) 施設経費の削減の取組み	15	9	9
(4) 施設の管理を安定して行うための取組み	20	16	12
(5) 施設の安全対策、危機管理体制の取組み	20	12	12
評価点合計	100	78	74
総合評価		B	B

第3次評価（選定委員会評価）				
評価	第2次評価点	選定委員会評価加点	第3次評価点	第3次総合評価
選定委員会コメント				

(4) 施設の管理を安定して行う能力

《 別紙 》

④ 財政状況に異常はないか

直近3カ年の情報を記入してください。

決算年次	平成28年3月期	平成29年3月期	平成30年3月期
資産総額	2,204,666,079	2,139,158,653	2,097,731,214
売上高	973,448,487	931,676,583	930,938,472
経常利益	△ 128,501,130	△ 74,175,012	△ 103,683,087
当期利益	△ 128,456,809	△ 74,150,956	△ 103,605,695
経常収支比率	88.4%	92.7%	90.0%

※ 経常収支比率について

本指標は、会社の資金繰りの実態を示す指標です。

この数値が100%未満であると銀行借入れをしなければ営業活動ができなくなるといわれているものであり、経常損失が生じていることを意味します。

決算年次	平成28年3月期	平成29年3月期	平成30年3月期
経常費用	1,106,174,335	1,009,825,708	1,038,342,290
経常収益	977,673,205	935,650,696	934,659,203
経常収支比率	106.1%	92.7%	90.0%

○経常収益（営業収益＋営業外収益）÷経常費用（営業費用＋営業外費用）×100で求めます。

指定管理者コメント

平成29年度における本会全体の財務状況は、前年度に続き介護保険事業利用者が減少したことに伴い、事業収入が減額し赤字決算となりました。繰越金があることから組織全体の運営に支障はありませんが、安定した基盤づくりのため、今後も健全な経営に努めていきます。